

湖南市文化財講座「地域の魅力再発見！まち歩き・ワークショップ」開催結果

1. ワークショップの概要

第4回は三雲で開催。夏見公民館に集合し、旧東海道周辺を回るまち歩きを実施。その後、公民館に戻ってグループワークを実施し、「三雲らしい」文化財について意見交換を行った。

日 時：令和7年9月7日（日）午前9時～正午

会 場：夏見公民館

参加者：一般参加者13名、湖南市商工観光労政課5名

2. まち歩きルート

夏見公民館 → 夏見神社 → 夏見城跡 → 観音寺 → 吉永公民館
→ 大沙川隧道、弘法杉 → 西往寺 → 夏見の里（立場跡） → 夏見公民館

3. 内容

①地域に伝わる文化財

社寺：夏見神社、観音寺、西往寺 城跡：三雲城址、夏見城跡

隧道（マンポ）：大沙川、由良谷川 夏見の立場 弘法杉 天保義民の碑 針文五郎の碑

②後世に伝えていくまでの課題

- ・素晴らしい文化財が多くあるがPRが十分でない。
- ・子どもが歴史に触れる機会が少ない。
- ・隧道は地元住民から撤去要望が出ている。

③課題の解決に向けて

- ・イベント開催によるPR…参加型のイベントで地域の文化財に触れてもらう
→今回のまち歩きはタイトル等がやや堅苦しい印象。気軽に参加できるように、わかりやすいキャッチコピーなどあるとよい。 例：夏見城跡で毛抜きが出土…「昔の人も身だしなみに気を使っていた！？」
- ・子どもに興味を持ってもらえば家族や友人を巻き込んで参加者を集めやすくなる。
- ・夏まつりなど人が多いところでPR。
- ・観光協会のJRハイキング…参加者多く、県外からも来てもらえる。行政も協力して盛り上げては。
- ・子どもが歴史に触れる機会を作る…菩提寺では地域学習が盛んで、児童が自主学習、発表するプログラムがある。行政も協力して学校教育に組み込めないか。

湖南市文化財講座「地域の魅力再発見！まち歩き・ワークショップ」開催結果

3.まとめ

社寺や中世城郭跡、江戸時代の街道文化を示す立場跡や街並みなど、魅力的な文化財が多くある。知らなかつたものもあり驚いた、一方でPRが十分でないのではないかとのご意見をいただいた。まちづくり協議会や観光協会のハイキングイベントを支援ないし協働する、地域の子どもに歴史学習の機会を設けるなどが施策の第一歩として考えられる。地域の魅力を多くの人に知ってもらうことは文化財の保護・活用両面につながることであり、特に将来の担い手にもなりうる子ども世代へのアピールは重要。内外への魅力発信を積極的に行いたい。



まち歩き風景



グループワーク